

【今月の問い】

Q. ニュースダイジェスト **2023年8月号** で紹介した以下の記事を読み、以下の①～③について考えよう。

マウイ島の火事 壊滅的な被害

米ハワイ州のマウイ島で起きた大規模な山火事で、かつてのハワイ王国の首都だった歴史的な町ラハイナが壊滅的な被害を受けた。被害額は数十億ドル（数千億円）規模に上ると見られる。マウイ郡当局によると、10日時点でラハイナでの死者数は55人で、被害者はさらに増える可能性がある。また、1千以上の建物が崩壊、数百世帯は家を失ったと見られ、約1万世帯が停電している。ラハイナの火災の約8割は鎮火されたようだが、ハワイ州で最悪の自然災害になるだろうという。米バイデン大統領は、大規模災害宣言を出し、現地への物資支援などを指示した。

（ニュースダイジェスト 2023年8月12日より）

① 森林火災の被害を最小限にとどめるためにはどのような方法が考えられるだろうか？

② 地球温暖化による被害を多く受けるのはどのような人たちだろうか？

③ 温室効果ガス排出を抑制するにはどのような方法があるだろうか？

※次ページの解説も参考にしよう！

今月のSDGs

※ 北九州市立大学 地域創生学群 教授 眞鍋和博先生に、ゴール 13 について解説いただきました。



気候変動に具体的な対策を

2023年の夏は世界各地で高温となりました。地球が温暖化しているうえにエルニーニョ現象が加わったことが原因だと言われています。国連のアントニオ・グテーレス事務総長は「地球温暖化の時代から、地球沸騰化の時代が来た」とこのような状況に警告を鳴らしています。高温によって被害を受けるのは人間だけではありません。動物や農作物にも大きな影響をもたらすのです。

地球温暖化が原因の一つとなって、大規模な森林火災がカナダ、チリ、ギリシャ、ロシアなど世界各地で発生しています。そして新聞記事で取り上げられているハワイ・マウイ島で今年発生した森林火災は50人以上の人の命を奪い、建物等への被害額は数千億円にのぼると報告されています。

地球温暖化が及ぼす被害は森林火災だけではなくありません。まず農林水産業へ大きな影響が及びます。農作物や魚の生育場所が変化しますので、これまで育たなかった品種を育てなければならなくなったり、漁獲できる魚種が変化したりと、生産者はその対応に追われています。

地球温暖化は集中豪雨や台風の強大化など、気候に影響を与えます。近年の雨の降り方は集中・多雨傾向になっていることが研究結果から示されています。このような傾向は、洪水や地滑りなどの被害につながるものが少なくありません。2023年もアフリカやヨーロッパなどで洪水の被害が報告されています。

地球温暖化に歯止めをかけるために、2015年に開催された「COP21」で「地球の気温上昇を産業革命時から2℃以内、可能な限り1.5℃以内に収める努力をする」という「パリ協定」が全会一致で採択されました。政府、地方自治体、企業、教育機関、そして私たち市民がこの達成に向けて努力をしていかなければならないとされたのです。

しかし前途は多難です。多くの国では地球温暖化の原因となっている二酸化炭素などの温暖化ガスの排出を少なくしていく計画を立てています。しかし現在の計画では温暖化に歯止めをかける効果はそれほど大きくないことが調査研究の結果わかってきました。実行力を高めるだけでなく、より強い目標を立て直すことが必要かもしれません。それは、経済や社会のあり方を大きく変革しなければならないでしょう。

SDGs13番は「気候変動に具体的な対策を」です。気候変動は貧困や飢餓、水の枯渇、海洋生物への悪影響へつながっていきます。そしてそのことが、私たち人間の生活にも大きな影響を与えるのです。地球温暖化の進行を科学的見地から認識し、抑制するための実行力のある計画と私たち一人ひとりの行動が危機を救ってくれると信じて、早急に行動しなければならないでしょう。